

# 2017年度 自己点検・評価 全学的課題事項について

◎はとりまとめ組織 ○は検討・連携組織

基準	評価項目	2017年度 全学的課題事項	課題への対応	
			対応組織	改善の方向性
【基準1】 理念・目的	(教学部) ■評価項目No.101 [旧評価項目No.101] 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	策定された「教育理念・目的」と各学部の理念・目的、3つの方針との整合性を検証いただきたい。【努力課題】	◎教学部 ○教学企画部	2015年度からの全学的課題事項として、現在、教学部が継続的に取り組みを行っている。「3つの方針一体的見直し作業部会」を通じて、「龍谷大学・龍谷大学短期大学部の教育理念・目的」と各学部の教育理念・目的の整合性を検証し、必要に応じて見直しを行う。
【基準3】 [旧基準2] 教育研究組織	(教学部) ■評価項目No.301 [旧評価項目No.201]	「教育組織の編制原理」の策定は、目標年度内の達成が望まれる。【努力課題】	◎教学部 ○教学企画部 ○研究部	2015年度からの全学的課題事項として、現在、教学部を中心に継続的に取り組みを行っている。引き続き、関係組織が連携を図り、教育研究組織の編制原理を策定する。
	(研究部) ■評価項目No.301 [旧評価項目No.201]  大学の理念・目的に照らして、学部・研究科、附置研究所、センターその他の組織の設置状況は適切であるか。	「教育・研究組織の編制原理」について、期日のとおりに策定されたか確認されたい。【努力課題】		
【基準4】 教育課程・ 学習成果	(教学部) ■評価項目No.401・402 [旧評価項目No.413] 授与する学位ごとに、学位授与の方針を定め、公表しているか。(401) 授与する学位ごとに、教育課程編成・実施の方針を定め、公表しているか。(402)	本学の教育理念・目的と各学部の教育理念・目的、DP、CP、APとの整合性を本格的に見直すことが可能となったと考えられるので、「3つの方針の策定及び運用に関するガイドライン」を踏まえた、3つのポリシーの一体的策定を早急に進めていただきたい。【努力課題】	◎教学部 ○教養教育センター	2012年度からの全学的課題事項として、現在、教学部を中心に取り組みを行っている。「3つの方針一体的見直し作業部会」を通じて、『履修要項』等で学生に分かりやすく明示できるように、DP、CPにおける領域・観点等の区分に教養教育科目と専攻科目がどのように対応しているのかを整理する。
	(教学部) ■評価項目No.403 [旧評価項目No.421] 教育課程編成・実施の方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	「3つの方針の策定及び運用に関するガイドライン」を踏まえた、3つのポリシーの一体的策定と関連づけて、カリキュラムチェックリスト及び科目ナンバリングを用いた確認体制の構築に向けて、早急に検討を開始していただきたい。【努力課題】	◎教学部 ○教養教育センター	2013年度からの全学的課題事項として、現在、教学部が継続的に取り組みを行っている。「3つの方針一体的見直し作業部会」を中心に、各教学責任主体と連携して取り組む。カリキュラムチェックリスト及びナンバリングの導入、またカリキュラムマップを用いた学生への明示など、本学に適した確認体制や明示方法を検討する。

基準	評価項目	2017年度 全学的課題事項	課題への対応	
			対応組織	改善の方向性
【基準4】 教育課程・ 学習成果	(教学部) ■評価項目No.405 [旧評価項目No.442] 成績評価、単位認定及び学位 授与を適切に行っているか。	認証評価結果において努力課題となった「在籍関係のない状態で学位論文を提出した者に対し課程博士として学位を授与していることは適切ではない」ことについては、計画の通り、2016年度に改善の方向性を決定し、2017(平成29)年度までに「龍谷大学大学院学則」の変更及び「龍谷大学学位規程」の改正を行っていただきたい。【努力課題】	◎教学部 (各研究科)	2014年度からの全学的課題事項として、現在、教学部が継続的に取り組みを行っている。研究生制度は廃止の方向であるが、「龍谷大学大学院学則」の変更及び「龍谷大学学位規程」の改正に必要な検討課題に対し、教学部と各研究科が連携して取り組む。
【基準5】 学生の 受け入れ	(教学部) ■評価項目No.503 [旧評価項目No.503] 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき、適正に管理しているか。	継続的に努力課題となっている研究科における入学定員に対する入学者数の割合は、依然として一部研究科においては、大幅な未充足状態が続いている。【努力課題】	◎教学部 (各研究科)	2011年度からの全学的課題事項として、現在、教学部が継続的に取り組みを行っている。全学教学政策会議を通じて、引き続き、教学部と各研究科が連携して改善に取り組む。
【基準8】 [旧基準7] 教育研究等 環境	(教学部) ■評価項目No.801 [旧評価項目No.704] 学生の学習や教員による教育研究活動に関して、環境や条件を整備するための方針を明示しているか。	教員の教育・研究の環境整備に関する方針の策定について努めていただきたい。【努力課題】	◎教学部 ○研究部	2015年度からの全学的課題事項として、現在、教学部を中心に継続的に取り組みを行っている。引き続き、関係組織が連携を図り、教員の教育・研究の環境整備に関する方針を策定する。